

刈谷市議会議員 伊藤よしえ による刈谷の未来づくり提案誌

# ORANGE PRESS

オレンジプレス Vol.4  
2024年6月議会号

令和6年6月議会 一般質問

どうなる今年の夏休み!?

—放課後児童クラブの昼食サービス—

IT化、保育・教育現場の最前線  
育休退園の改善、一歩ずつ前に

常任委員会報告

オレンジの女、田植えデビュー

皆様にお支えいただいた1年を振り返る

# どうなる今年の夏休み！？

—放課後児童クラブの昼食サービス—

**恐怖の夏休みがやってくる・・・**

たくさんのワクワクが詰まった夏休み。子どもたちにとっては待ち遠しい時期ですが、保護者にとっては「恐怖の夏休み」という一面も持っています。お昼ご飯をどうするか、皆さんを悩ませる問題のひとつです。1カ月以上もの期間、出勤前にお弁当を作って持たせねばならない保護者の負担を軽減したいとの思いから、かねてより私の所属する会派から要望していたのが、「長期連休中の放課後児童クラブにおける昼食配達サービス」の導入です。昨年は市内の2つのクラブで実証実験を行い、好評を得ました。今年はどうなるのか、本導入を後押しする意味でも、本議会で質問に立つことにしました。

**今年の夏は市内全クラブにて実施**

結論になりますが、今年には市内全クラブにて実施していただけることになりました！

元々今年には4つのクラブで実施予定でしたが、ニーズが高く、事業者の参入意欲が高いことが分かってきたため、前倒しでの実施が実現することになりました。気になる利用料金は1食600円前後になりそうです。昨年は事業者に利益が出ない水準でのいわばお試し価格でしたが、今年には本導入に向け継続的な事業として成立する水準での実施となります。実施事業者は、お弁当の価格やサービスの質などの審査項目で決定されますが、子どもたちの笑顔と保護者の安心という観点から、「おいしさや安全性」も審査項目に入れて欲しいと要望しました。

**利用者の声で、より良いサービスに**

放課後児童クラブを利用されている方には是非お願いしたいのが、「まずは使ってみて欲しい」ということと、「利用後の声を聴かせて欲しい」という2点です。利用者の声を冬休み以降のサービスに反映し、事業を形作っていくことになるためです。仕事と子育ての両立に、日々奮闘する皆さんの声をもとに要望し続けてきたこの事業の実現の日まで、あと少しです！

## 育休退園の 改善 一歩ずつ 前に

**改善を望む声、多数**

育休退園の制度改善と将来的な廃止は、議員になる前からたくさんの声をいただいております、実現したいと思ってきた政策のひとつです。第2子のための育休休業を取得すると保育要件を満たさなくなるため、第1子の年齢によっては保育園を退園しなければならぬ場合がある。乳児の世話をしつつ、第1子の面倒を見る保護者の一日の過ごし方たるや、「息つく暇もない」といったものでしょう。退園を寂しがる子どももいると聞きます。待機児童を発生させないことと、育休退園の廃止を両立させるためには何が必要か、一般質問で取り上げ議論を行いました。

**リソースの確保がキー**

令和5年度に育休休業の取得を理由に退園した園児は四十一人でした。育休休業を機に第1子と家で過ごす時間を取りたい、親と一緒にいたいという保護者や子どももいるかもしれませんが、育休退園がネックで第2子を産むタイミングを見計らったり、刈谷市に住むことを諦めた方もいます。保護者や子どもに選択肢があり、安心して2人目以降の子どもを持てるまちにするためにも、将来の保育需要の見通しを立て、場所や保育士など、リソースの確保をしていくべきとの提案をしました。

**子ども・子育てに関する事業計画に注目**

今後も保育需要の増加が見込まれる中、現時点でただちに育休退園を撤廃する予定はない、とのことでしたが、育休退園の制度は改善されてきた部分もあります。令和6年度で言えば、2歳児クラスの保護者が9月末以前に第2子を出産し、育休休業を取得する場合は取り扱いが改善されました。さて、今後の対応は、今年度末に策定される「子ども・子育てに関する事業計画」の中で検討されることとなります。将来を見据えた対応がなされるよう、引き続き市に働きかけて参ります。

# IT化 保育・教育 現場の最前線

## 訴え続けるにはワケがある

一年生議員の私が初の一般質問で取り上げたのが、保育・教育の現場におけるIT化推進です。現場で働かれている方々の負担軽減やそれに伴う保育・教育の質向上、保護者の利便性向上などメリットの幅が広いと考えます。あれから現場はどのように変わったのか。現状と課題について議論しました。

## 教えて！ 進歩するIT化事情

IT化が進んだ部分で言えば、保育園の登降園や出欠、給食の欠食届などがアプリで申請・管理できるようになりました。また、おたよりや子どもたちの写真などもアプリでやり取りできるようなったそうです。学校でも欠席連絡や学年便りの配信などのIT化が進んでいます。学校でもタブレットや学習プリントに変わってオンラインドリルが導入されたり、手書きや拡大印刷で作成していた資料を授業支援システムに置き換えるなどの対応も進んでいます。もちろん新しいものを取り入れる苦勞もあろうかと思いますが、**授業準備にかかる時間が短縮でき、子どもたちと向き合う時間が増えた、といった前向きな声も上がっている**とのことでした。

IT化が進む過渡期においては、紙とデジタルの混在状態によるユーザーの混乱も起こりますので、混在状態の解消も議会にて要望しました。

## 一人ひとりにも社会にもメリットが

IT化のメリットは冒頭に挙げましたが、「点」でのメリットだけではありません。例えば教員の目線に立ってみると、効率化が進み、より良い保育や教育に時間を充てられれば、働く喜びも増える。残業時間が減り、ワークライフバランスが保たれる職業になれば、これから教員を目指す若者へプラスのメッセージになり、将来的な人材不足解消につながっていく。社会全体でこうした好循環を生んでいくためには、**IT化推進に限らず、未来を見据えた子育て・教育政策に取り組んでいきます。**

## 常任委員会報告

常任委員会委員の任期は1年です。私にとっては最後の市民文教委員会でしたので、これまで質問・要望してきた案件についての対応状況を確認しました。中でも、昨年9月に要望した「小学校トイレへの生理用品の設置」については、今年度からすべての小学校で導入いただくことができました。

委員会での発言や当局の回答は、刈谷市のHPから閲覧できます。また、本会議での一般質問は、映像で公開されています。ご興味を持っていただいた方は、是非のぞいてみてください。

## オレンジの女 田植えデビュー

デンソー労働組合が組合ビジョンに基づいて作った企業内大学の“カワレル Action College”が主催するイベントで、田植えデビューを果たしました。

私を含め参加された皆さんが、自然環境の大切さや農家さんへの感謝、はたまた食料自給率の問題など、それぞれの思いを馳せたことと思います。

カワレル Action College では、一人ひとりが社会に触れたり、自分や周りの人が輝くきっかけとなるようなイベントが今後も開催されます。皆さんと一緒に学べる日を楽しみにしています！





皆様にお支えいただいた  
1年間を振り返る

2023年7月2日に施行された刈谷市議会議員選挙にて初当選をさせていただいてから、早いもので一年が経過しました。慌ただしくも新しい出会いや学びに満ち溢れた一年間を元気に過ごすことができ、たのは、皆様のエールがあったからだと感じています。本当にありがとうございました。

日々、様々なご相談やご意見をいただきますが、満点の形にするのは時間がかかるもの、今の刈谷市では残念ながら実現が困難なものもあるのが現実です。相談者様に前向きなフィードバックができた日は喜び、できなかった日は悩む、ジェットコースターのような毎日ですが、「まずは声を聞いてくれたこと、声を届けてくれたことが嬉しい」と言ってくださる方々に励まされています。自分自身の信念をもとに、刈谷市をさらに魅力的なまちにすべく、政策実現に向け邁進して参ります。

刈谷市議会議員 伊藤 よしえ

[おしらせ]  
ORANGE PRESS は、年間4回発行します。  
日々の活動はSNSでも発信しています。  
是非フォローをお願いします！DMにてご相談も賜ります。

Facebook



X

